

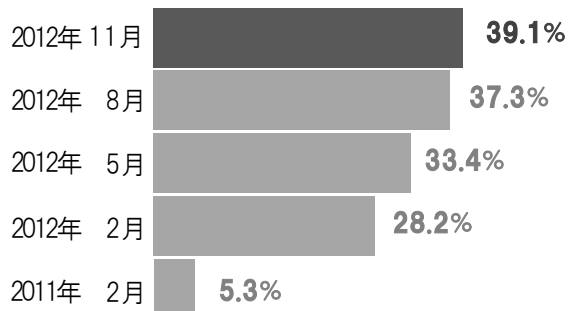
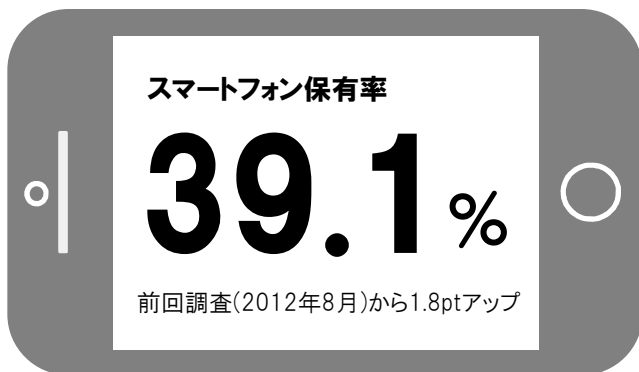


2013年 2月12日  
 博報堂DYグループ  
 スマートデバイス・ビジネスセンター

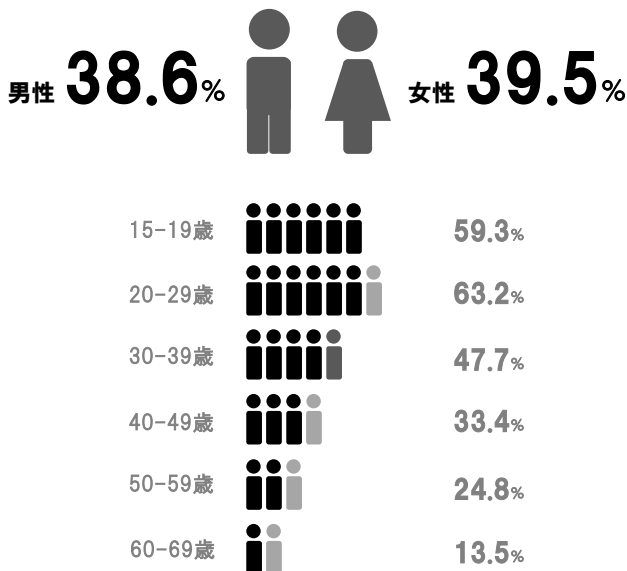
## 「全国スマートフォンユーザー1000人調査」第4回分析結果報告

株式会社博報堂DYホールディングスのグループ横断型組織「博報堂DYグループ・スマートデバイス・ビジネスセンター(\*1)」は、日本のスマートフォンの普及状況を浮き彫りにするため、10~60代男女を対象にした「全国スマートフォンユーザー1000人定期調査」(\*2)を実施しております。この度、2012年11月に行った第4回調査の結果をご報告致します。

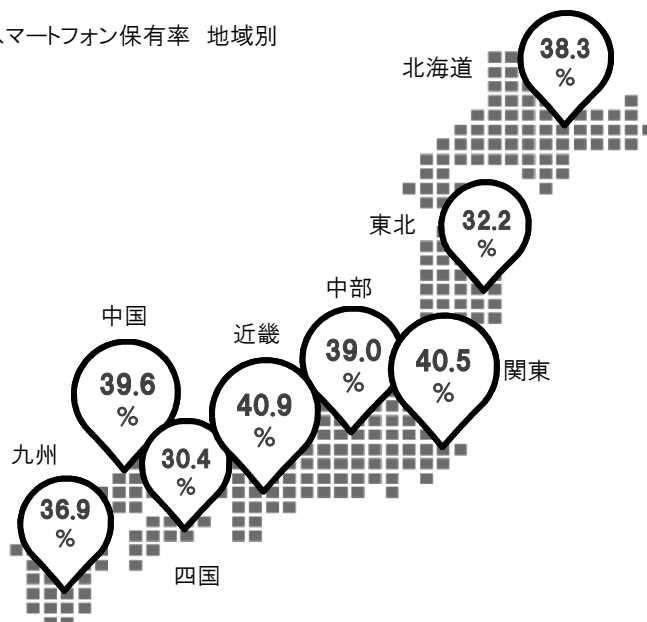
博報堂DYグループでは、今後もスマートフォンの普及率とマーケティング・コミュニケーションにおけるスマートデバイスの可能性に注目し、大サンプルかつ高頻度のスマートフォンユーザー調査を続けてまいります。



スマートフォン保有率 性別/年代別



スマートフォン保有率 地域別



次ページ以降に  
 特別分析レポート「スマートフォンユーザーのタブレット利用」がございます。

# 「全国スマートフォンユーザー1000人定期調査」第4回特別分析レポート スマートフォンユーザーのタブレット利用

## 男性は外出先でのパーソナル利用、女性は自宅でのファミリー利用

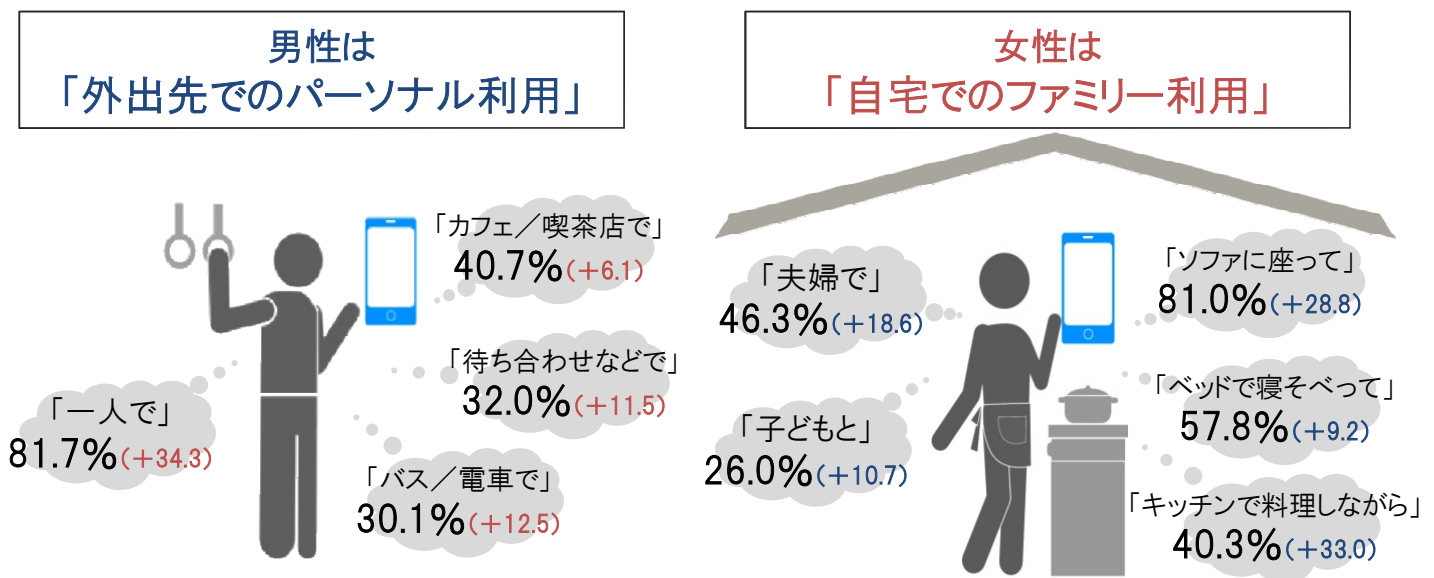
- ・スマートフォンユーザーのタブレット保有率は17.1%、タブレット非保有者のうち、「興味あり」は7割超
- ・タブレット利用に関して、男性は「一人で」が圧倒的に多く、移動や店など外出先での利用率が高い
- これに対し、女性は「夫婦で」「子どもと」の利用も多く、キッチンやソファなど家庭内での利用が顕著

株式会社博報堂DYホールディングスのグループ横断型組織「博報堂DYグループ・スマートデバイス・ビジネスセンター」は、この度2012年11月に行った「全国スマートフォンユーザー1000人定期調査」第4回の結果を元に、「スマートフォンユーザーのタブレット利用」に関する特別分析レポートを発表致します。

スマートフォンユーザーを対象に、タブレットに関する利用実態を調査したところ、スマートフォンユーザーのタブレット保有率は約17%であることが分かりました。男性は「1人で」の利用率が高い中、女性は「夫婦で」「子どもと」の利用が相対的に高い傾向にあります。これは男性に比べ、女性利用者は単身世帯以外が9割以上を占めていることが要因の一つと考えられます。利用シーンを見ると男女ともに家庭内のソファやベッドでの利用が高い中、男性では加えて移動時間や外出先、女性はキッチンなどでの利用がそれぞれ高いことが明らかになりました。これらから、男性は外出先も含めた1人利用が中心に対し、女性は自宅での家族と一緒にでの利用が中心であることが分かりました。

博報堂DYグループでは、今後もスマートフォンのマーケティング・コミュニケーションにおける「行動ハブ」としての可能性に注目し、大サンプルかつ高頻度のスマートフォンユーザー調査を続けてまいります。

### 男女で異なるタブレットの利用像

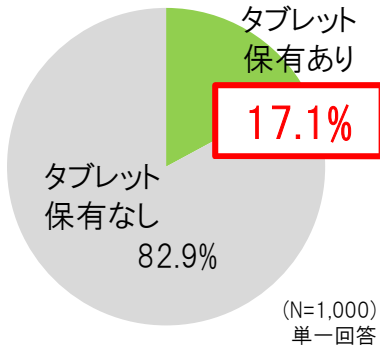


※カッコ内は異性回答率との差分

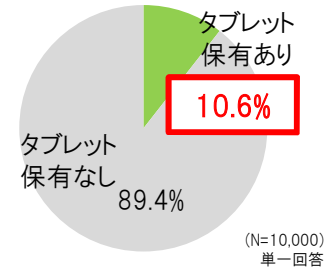
<調査結果の詳細>

- スマートフォンユーザーのタブレット保有率は、17.1%。

スマートフォンユーザーのタブレット保有率



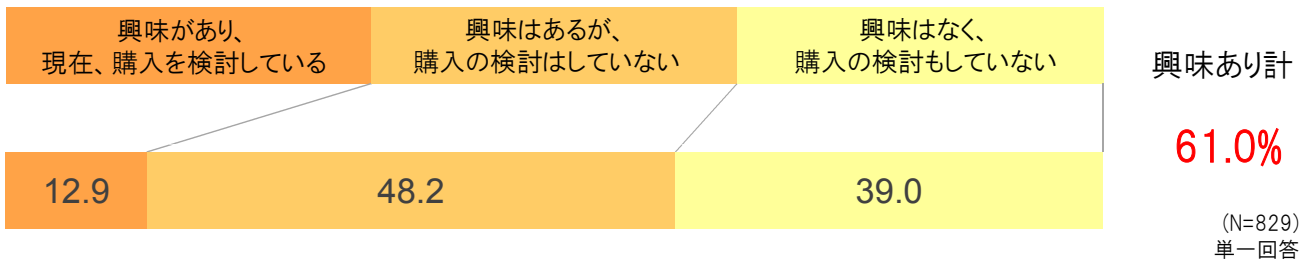
【参考】タブレット保有率(全体)



- タブレット非保有者のうち、興味あり計は、61.0%にのぼる。

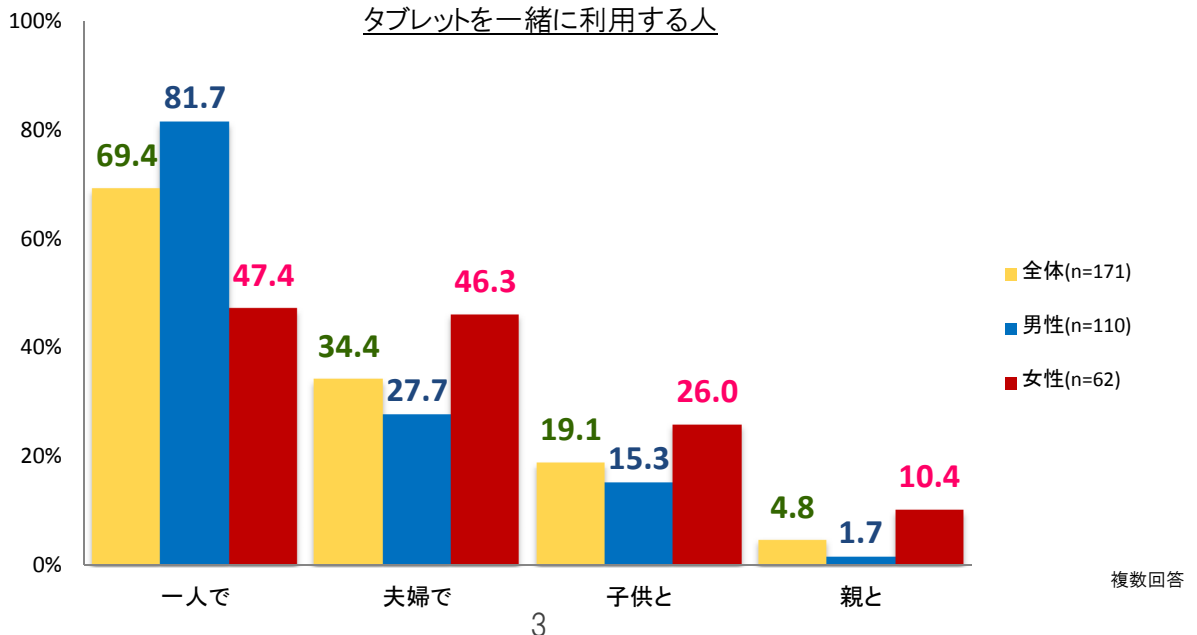
タブレット非保有者の保有意向

(%)



- タブレットを一緒に利用している人の状況を見ると、「一人」での利用が69.4%と最も高い。
- 男女別にみると、男性では「一人」が最も高く、女性では加えて「夫婦で」「子どもと」も高い。

タブレットを一緒に利用する人



<調査結果の詳細>

- タブレットの利用シーンとして「ソファで座りながら」「ベッドに寝そべりながら」「ソファに寝そべりながら」の順で高い。
- 男女別にみると、男性では屋外・外出先が、女性では家庭内での利用シーンが高い傾向にある。

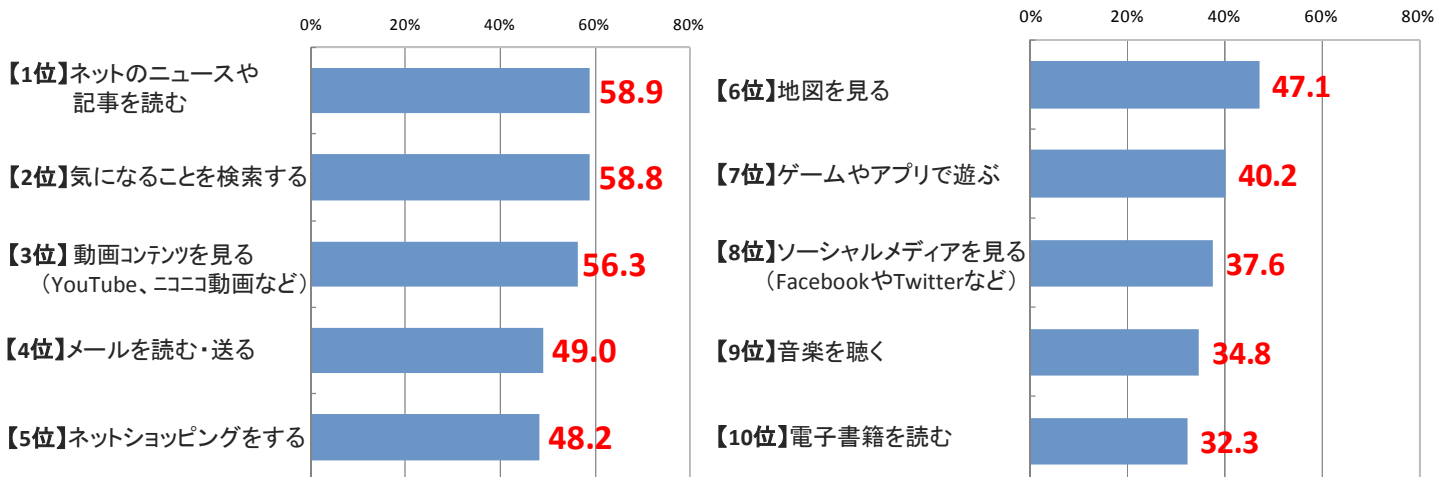
タブレット利用シーン

		全体(n=171)	男性(n=110)	女性(n=61)
1位	ソファに座りながら	62.5	52.2	<b>81.0</b>
2位	ベッドに寝そべりながら	51.9	48.6	<b>57.8</b>
3位	ソファに寝そべりながら	40.7	36.7	<b>47.9</b>
4位	テレビやラジオを視聴しながら	39.5	<b>43.1</b>	33.0
5位	カフェ／喫茶店で過ごしながら	38.5	<b>40.7</b>	34.6
6位	待ち合わせなどのすきま時間を過ごしながら	27.9	<b>32.0</b>	20.5
7位	バス／電車に乗りながら	25.6	<b>30.1</b>	17.6
8位	学校や職場で休憩しながら	25.5	<b>29.5</b>	18.3
9位	キッチンで料理しながら	19.2	7.3	<b>40.3</b>
10位	職場で仕事をしながら	18.5	<b>24.6</b>	7.6

複数回答／全19項目中上位を抜粋

- タブレットの利用内容として「ネットのニュースや記事」「気になることを検索」「動画コンテンツ」の順で高い。

タブレット利用内容



(N=171)  
複数回答／全21項目中上位を抜粋

## \*1 博報堂DYグループ・スマートデバイス・ビジネスセンター

当組織は、スマートフォンやタブレットを活用した、新しい広告手法やサービスの開発といったマーケティングソリューションを提案する、博報堂DYグループ横断の組織です。

中核事業会社4社(株式会社博報堂、株式会社大広、株式会社読売広告社、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ)だけでなく、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社を始めとしたグループ各社それぞれが、クライアントへのソリューション提供の取り組みやスマートデバイス領域の新サービスの開発を行っております。

当組織ではこれらの動きや情報を集約し、グループ内のリソースのみならず、メディア・テクノロジー提供企業・制作会社など外部とのネットワークも活用し、新たな広告手法や効果的なマーケティング手法の開発を推進しています。



Smart Device  
Business Center

## \*2 調査の概要

調査時期：2012年11月23-25日

調査地域：全国

調査対象：高校生～69歳男女のスマートフォンユーザー1,000名  
(スクリーニング調査10,000名)

調査方法：インターネットアンケート調査

## <過去の「全国スマートフォンユーザー1000人調査」レポート一覧>

- ・第1回分析結果報告 2012年5月24日発表  
<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/pdf/HDYnews120524.pdf>
- ・第2回分析結果報告 2012年9月10日発表  
<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/pdf/HDYnews120910.pdf>
- ・第3回分析結果報告 2012年10月29日発表  
<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/pdf/HDYnews121029.pdf>

本件に関するお問合せ：博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 西原・山崎(TEL:03-6441-9062)